

学部学科研究会 **—大学の模擬講義を受けました—**

12月18日（金）学部学科研究会が行われました。全部で12分野の講座が開かれ、生徒はそれぞれ希望の講義を真剣に受けていました。進路について考える良い機会となりました。

1 テーマ 「模擬講義を受け、学問・進路について考える」

2 目的 ①大学の先生方の講義を聴くことで見識を高めさせる。

②学問分野全体を見渡した上で、関心のある分野を見だし、自己の進路を明確にするための一助とする。

3 講座分野と生徒の感想



①人文科学 『ドイツ語に触れてみましょう!』

富山大学 人文学部 人文学科 宮内 伸子 先生

- ・ドイツ語が身近なところにたくさんあるのを知り、もっとドイツ語を発見したいという興味が出てきました。ドイツ語を少し言えることができた気がします。この講義を通して、興味のある分野が出てきたり、大学に行ってもっとたくさんのことを学んだりしたいと思うようになりました。（2年男子）



②社会科学Ⅰ 『会計学入門 ～企業における会計の役割～』

富山大学 経済学部 経営学科 廣橋 祥 先生

- ・自分も経済主体の一部であるので、商品を買うなどの経済活動を行う時に、会計は現わされた情報だということを理解して、生活の中の経済活動の見方を変えていきたいと思います。見方を変えることで、社会に出たときに自分の考えをもつことができるのではないかと思います。（1年男子）



③社会科学Ⅱ 『行政サービスと税金について考える』

富山国際大学 現代社会学部 佐藤 綾子 先生

- ・企業と政府の立場に立って色々考えてみたいと思いました。また双方で経済の目的が違うことを知りました。（2年男子）
- ・税金の使い道などは議会などで決められていることが分かって積極的に調べてみたいと思った。（1年男子）
- ・国のことを知るためにニュースや新聞を読んだりして今の状況をもっと知りたいと思いました。（1年女子）



④教育Ⅰ 『心理学ってなんだろう? : 記憶についてのあれこれ』
富山大学 人間発達科学部 発達教育学科 近藤 龍彰 先生

- ・心理学は心の世界だけのことかと思っていたけど、今日の話を書いて記憶とも関係していることを知っておどろきました。これからあるテストや単語をおぼえる時には今日教えてもらった3つの記憶を利用して覚えられたらいいなと思いました。そして覚えるために情報をたくさん吸収したいです。(2年女子)



⑤教育Ⅱ 『施設で働く保育士の仕事』
富山短期大学 幼児教育学科 明柴 聡史 先生

- ・保育士は、新型コロナウイルス感染防止のため、マスクをして子どもたちと接している。そのため、目で気持ちを伝えられるようになる必要があると教わった。今から感情を目で表現できるよう意識したいと思った。また、人の気持ちを理解したり、人間性・コミュニケーション能力を身に付けたりなど、今からできることはたくさんあると思った。(2年女子)



⑥理学・工学Ⅰ 『QRコードの秘密 ~社会を支える数学~』
富山大学 理学部 数学科 幸山 直人 先生

- ・日常生活で使われているものの仕組みを理解してみたいと思いました。誤り訂正符号のような数学的な秘密を知り、他にも色々な物の秘密を知りたいと思いました。(2年男子)
- ・QRコードが日本生まれだと初めて知りました。QRコードが汚れたり欠損していても読み取り、正しいデータに復元できることはすごいいいと思いました。(1年男子)



⑦理学・工学Ⅱ 『身の回りの機能材料』
富山大学 都市デザイン学部 材料デザイン工学科 佐伯 淳 先生

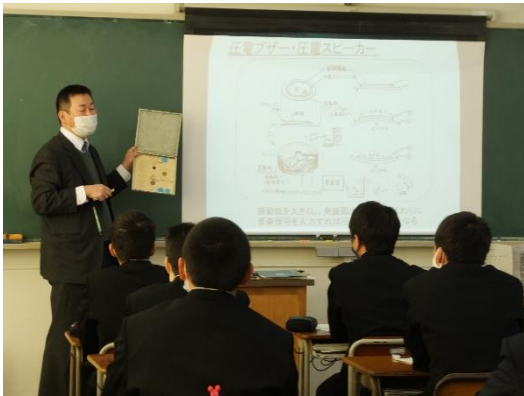
- ・結晶構造のタイプには多くの種類があり驚きました。セラミックスはとて身近に使われており、たくさんの種類もあることがわかり、興味を持ちました。ほんの少し構造や材料が違うだけで、性質が大きく変わり、私たちの使っているものがより便利になっていくことがわかり、機能材料の研究に携わってみたいと思いました。(1年女子)



⑧理学・工学Ⅲ

『金属は疲労する ～機械の破壊事故の7～8割は疲労が原因～』
富山県立大学 工学部 機械システム工学科 堀川 教世 先生

- ・過去に起こった重大事故の原因の多くが金属疲労であったことに驚いた。講義の中では、物理や化学で習ったことが出てきて、今学習していることが今後役に立つことを確認できた。(2年女子)
- ・講義の中で見せていただいた実験の様子がとても面白そうだった。まだ進路は決まっていないけれど、こういった実験のできる学部に進みたいと思った。(1年男子)



⑨理学・工学Ⅳ

『強誘電体って何だろう (電子材料としての強誘電体の応用例)』
富山県立大学 工学部 電気電子工学科 藤井 正 先生

- ・実際に行っている研究も説明していただいたので想像しやすかった。今までよくわかっていなかった機器の具体例なども挙げていただいたので、難しい話も楽しく聞くことができました。電子の反応などの応用が、今どこで使われているか知れてよかったです。(1年男子)



⑩理工学部Ⅴ 『機能性食品との上手な付き合い方

～騙されない・賢い消費者になる～』

富山県立大学 工学部 生物工学科 西川 美宇 先生

- ・機能性食品について調べるとともに、機能性食品に頼らなくてもその効果を体にも与えられる一般食品やその食べ方について調べてみたいと思いました。(2年男子)
- ・機能性食品を正しく理解し、より健康に過ごせるように、成分などを見て自分に足りないものを補えるようになりたいです。(1年男子)



⑪医療Ⅰ 『地域を看護するってどういうこと?』

富山県立大学 看護学部 看護学科 越田 美穂子 先生

- ・私は今まで看護師は患者さんやお年寄りの方を看護するのが主な仕事だと思っていましたが、妊婦さんや新婚夫婦への健康教育や生活への手助けしていると知ってとても驚きました。私は将来看護師になりたいと思っているのでとても参考になりました。(1年女子)



⑫医療Ⅱ 『リハビリテーションに関わる仕事とその治療』
金城大学 医療健康学部 作業療法学科 河野 光伸 先生

- ・患者の変化にいち早く気づき、その人にあったリハビリを考えなければいけないのは、責任重大で大変そうと思った。しかし、誰かのために一生懸命になれるとても素敵な職だとも思った。(2年女子)
- ・今までできていた生活をできるようになるまでの手伝いをするととても大切な仕事だと感じた。病気を治すだけでなく、アフターケアも大切だと知り、心理的な勉強もしていきたいと思った(1年女子)